

第3回 浦添運動公園再整備計画検討委員会
会議録

【開催概要】

日 時	令和5年8月21日（金） 15:00～17:00
場 所	アイム・ユニバースてだこホール 生涯学習棟1階 マルチメディア学習室
議事	(1) 前回委員会の内容と本日の論点 (2) パブリックコメントについて (3) 基本構想・基本計画（案） (4) エントランスゾーンの整備（案） (5) 今後の再整備の進め方

【出席者】

(1) 浦添運動公園再整備検討委員会

委員			
神谷 大介	国立大学法人 琉球大学 工学部 准教授	出席	委員長
友寄 孝	一般社団法人 沖縄しまて協会 技術環境研究所アドバイザー	出席	副委員長
大石 智弘	内閣府 沖縄総合事務局 開発建設部 公園・まちづくり調整官	出席	
平良 貴洋	沖縄振興開発金融公庫 調査部 地域連携情報室 室長	出席	
金城 孝	一般財団法人 沖縄観光コンベンションビューロー 国内事業部長 兼 東京事務所長	欠席	代理出席 阿嘉 陽平(国内事業部国内プロモーション課 主任)
下地 浩之	一般社団法人 沖縄県造園建設業協会 会長	出席	
照屋 満	浦添市スポーツ協会 理事 (浦添市陸上競技協会副会長)	出席	
田前 学	社会福祉法人 浦添市社会福祉協議会 事務局長	出席	
玉城 英吉	浦添自治会会長会 小湾自治会長 (浦添市スポーツ協会理事)	出席	
関戸 塩	浦添市PTA 連合会 会長	出席	

アドバイザー			
高原 直泰	沖縄SV株式会社 代表取締役CEO	欠席	代理出席 塩川 誠（営業部長兼ホームタウン担当）
荻堂 盛助	一般社団法人 浦添市身体障がい者福祉協会 副会長	出席	
譜久里 武	一般社団法人 アスリート工房 代表	欠席	

（２）事務局

浦添市			
大里 千都美	市民部経済文化局 局長	出席	
平古場 祐樹	市民部経済文化局 文化スポーツ振興課 技幹	出席	
諸喜田 司	市民部経済文化局 文化スポーツ振興課 課長	出席	
親富祖 弘也	市民部経済文化局 文化スポーツ振興課 係長	出席	司会
兼城 孝之	市民部経済文化局 文化スポーツ振興課 技査	出席	議事説明
徳永 徹	都市建設部 美らまち推進課 課長	出席	
比嘉 拓人	都市建設部 美らまち推進課 技査	出席	
比嘉 亨	都市建設部 新施設建設課 課長	出席	
仲島 裕貴	都市建設部 新施設建設課 技査	出席	
協力業者			
小川 勇樹	株式会社 中央建設コンサルタント	出席	令和4年度委託業務受注業者
長松 隼一郎	株式会社 中央建設コンサルタント	出席	令和4年度委託業務受注業者

【議事に対する調査、検討及び意見の概要】

2. 議事

[事務局]	(議事の説明)
説明者	(1) 前回委員会の内容と本日の論点 (2) パブリックコメントについて (3) 基本構想・基本計画（案） (4) エントランスゾーンの整備（案） (5) 今後の再整備の進め方
[委員]	・ 駐車場について、利用者に対して台数が不足している状況を解決しなくてはならない。新体育館の利用者数に対応できる駐車スペースが用意できるのか。
[事務局]	・ 駐車場の需要予測を行った結果、現時点で駐車スペースの過不足が見受けられる。その不足分に対して、ハードとソフトの両面から対策していく。ソフト面では、駐車場の有料化や目的外利用者の駐車対策、公共交通機関の利用促進等の対応を考えている。 ・ 今回提示した駐車場の需要予測の数値に関しては、今年度の駐車場の基本設計段階で再度検証を行い、必要な駐車スペース等について、今後の委員会の中で示しながら進めていきたい。
[委員]	・ 駐車場について、駐車スペースの増設の話があるが、既存の立体駐車場を増設していくのか、別の空間を利用して駐車スペースを確保するのか、または運動公園のエリア外に新しく駐車スペースを増設するのか、どのような駐車スペースの増設方法を考えているのか教えて頂きたい。 ・ 駐車場の有料化について、市民からの理解を得られるような説明などは考えているか。他市では、市役所の地下駐車場を有料化しているが、その費用を地域の防犯カメラの設置に対する補助金に利用するなど、市民に還元するような使い方をしていることで理解を得ているので、参考にしてもらいたいと思う。
[事務局]	・ 駐車スペースの増設について、運動公園に隣接するカルチャーパークも含めて、増設できる場所の検討を行いたい。 ・ 駐車場の有料化については、実施する方向で考えており、市民に対して事前に説明を行って理解を得られるようにしたい。

[委員]	車イス利用者などの駐車スペースについて、従来の駐車スペースよりも横幅を確保する必要があるが、車イス利用者用の駐車スペースは、どのくらいの割合を確保する予定なのか教えて頂きたい。
[事務局]	- 身障者用駐車スペースについて、法令などで示されている割合などを参考に整備を進めていく。 - 新市民体育館については、車イス利用者の方が正面からアプローチできる場所に駐車スペースの整備を検討しているところである。
[委員]	- 既存市民体育館について、車イス利用者や身障者が利用しやすくなるようなバリアフリーなどの整備はされるのか。 - 車イス競技者は、競技用の車イスを持っていく必要があり、公園内の地形は傾斜があるので、移動しづらい環境になっている。
[事務局]	- 園路については、スロープなどを整備して車イス利用者などが移動しやすいような環境を整備したい。 - 立体駐車場においては、身障者や車イス利用者の方が移動しやすいようにエレベーターの設置等についても検討したい。 - 立体駐車場の地下部分と既存体育館の1階部分は同じレベルであり、立体駐車場から既存市民体育館まで車イス利用者でも円滑に移動できる空間整備を検討していきたい。
[委員]	- 今回の議題になっている基本構想・基本計画（案）が、どこからどこまでなのかはわかりづらいように思う。 - 課題に対しての解決策まで記載して基本構想・基本計画としてほしい。 P. 10 と p. 11 について、再整備の方針が記載されているが、この方針がどのように個別施設の方針等に繋がっているのかわかりやすくすると良い。 - 施設別の整備方針について、各施設の将来像がどのようになるのか。例えば相撲場は、再配置を行うことになると思うが、そのような点が資料から読み取れなかった。 P. 45 の交流ゾーンについては、デザインイメージからも既存売店施設の運営面の改善等を想定するが、P. 52 に記載の P-PFI の検討は、新たに P-PFI で収益施設をつくるゾーンがあるのか、それとも既存の交流ゾーンにつくるのかといったゾーニングとの対応が読み取りづらいと感じた。

- [事務局]
- 「基本構想・基本計画計画（案）」は、説明資料の目次3項目までである。
 - 再整備の方針について、資料の9ページでフロー図を示しているが、再整備方針とゾーン別や施設別の方針とのつながりが分かりやすくなるように修正したい。
 - P-PFIについて、前回委員会で示した企業ヒアリングでドライブスルー型が好ましいとの企業からの意見があったことから、ゾーニングで対応できていないところであり、引き続き検討を進めたい。また、あわせて交流ゾーンの方針も含めて検討し修正したい。

- [委員]
- 今回の委員会の委員意見を取り入れて基本構想・基本計画としてまとめてほしい。
 - 再整備の方針等で交流が重視されており、既存の交流ゾーンだけでは対応できないと考える。P-PFI等も考慮すると既存の交流ゾーンだけではなく、対応する空間を見出さないといけない。
 - このような考えのもと、エントランスゾーンの再整備について考えると、新市民体育館前の空間だけでは足りないのではないかと考える。例えば、エントランスゾーンの第3案のように、正面のゲートをつくった上で、既存市民体育館前の空間を使ってスロープの設置や道路側の空間をドライブスルー型の施設のための空間、下の方は交流ゾーンと連携した空間を形成するなどの可能性もあると考えられる。第3案で立体駐車場の連結路を設置しない場合、第2案よりも広い空間や移動の円滑性が確保できると考えられるため、大きな視点で検討してほしい。
 - 既存市民体育は今後も変わらず利用していくのか、再整備するのかでエントランスゾーンの空間利用の方法が変わって来ると思うので、そのあたりも含めて検討を進めてほしい。

- [事務局]
- 交流ゾーンについて、ゾーニングの範囲を再度検討して修正したい。
 - エントランスゾーンについて、ご意見踏まえ第3案と第2案の内容を併せたような案について検討していきたい。

- [委員]
- 駐車場の需要予測ケースについて、現段階で市としてどのケースで進めていくのか教えて頂きたい。
 - 既存市民体育館について、新市民体育館と併用して利用する場合、維持管理費用などが単純に考えると2倍になるため、公園全体の収支を考えると、駐車場の有料化は避けられないと考える。
 - P.8の「将来像と再整備の方針」について、賑わいと地域の活性化とあるが、交流ゾーンに加えて地域住民が公園に集って利用出来るような施設等を考える必要が

あると思う。賑わいを生み出すために P-PFI について取り組むことを考えると、スタバ等のナショナルチェーン（全国チェーン）を誘致した場合、周辺のカフェ事業者が潰れてしまうといった事例もあるので、市内のカフェ事業者等と協力しながら施設整備を検討した方が良いと考える。

- [事務局]
- 駐車場の需要予測について、まず利用者の需要予測を考えた場合、コロナの影響や工事期間中の利用者減少を考慮すると、需要予測が困難であったため、2つのケースで利用者の需要予測を出している。
 - 駐車場の需要を考えるにあたって、まずは現状を踏まえた上で、将来の利用者需要に対する過不足を確認し、つぎに過去の実績ではどうだったかを確認した。過去の実績では慢性的に不足している状況であったが、今後のアフターコロナの状況も考慮する中で、どの数値を使うかは今後の駐車場の基本設計で検討をしていきたい。
 - PFI について、まずは新市民体育館のコンセッションを優先的に進めている状況であり、今年度業務の中で P-PFI の検討についても進めていく予定である。

- [委員]
- 駐車場の有料化は仕方ないと思うが、公園利用者には有料化に抵抗がある方がいると思うので、利用者に配慮した対応等の検討をお願いしたい。
 - てだこ祭りなどの大規模イベントを行う場合に、駐車場が足りなくなるのはしょうがないと思うが、イベント時にも公園に訪れやすい仕組みとして、例えば商業施設と連携したシャトルバスの運行など検討していただければと思う。
 - 琉球コラソンをメインに、ハンドボールに特化した体育館になると良いと思う。
 - 公園に多くの市民が来て歩き回れるような場所にしてほしい。

- [事務局]
- 有料化について、利用者に過度な負担にならないように考えていく。

- [委員]
- 第二回委員会において、陸上競技場でテントが張りにくいと発言したが、去る6月に自治会対抗のイベントを行った際に、サブスタンドにテントを張るスペースが足りなかった。テントの張りやすさなども考慮して再整備してほしい。

- [事務局]
- 他市町村の陸上競技場を視察し、比較したところ、浦添運動公園のサブスタンドは段差がきつく、他市町村と比べてテント設営が難しいと感じたため、その内容も考慮しながら再整備を検討していきたい。

- [委員]
- 駐車スペースの確保について、委員会でも意見が多く出ているので早めに方針を出す必要があるのではないかな。

- 公園の収益性も大事だが、収益が目的ではない市民の健康づくりや競技力向上などが疎かにならないように配慮して進めて頂きたい。

- [事務局]
- 駐車スペースについて、概ねの駐車台数の不足が確認できたので、今後は不足する駐車台数の検証とあわせて整備する場所の検討を進めていきたい。
 - 駐車場の有料化については、利用者の過度な負担にならないような料金体系を今後検討していきたい。

- [委員]
- 駐車場については、ソフト施策として有料化という話があったが、それ以外にも駐車場の満空情報を確認できるようにすることも取り組みとしてある。また、自転車ネットワーク計画を策定されている中、公園まで自転車で来てもらうことを促進することも考えられる。
 - バス停やモノレール駅から公園までのサイン計画も検討してほしい。
 - 駐車場が不足している問題を、駐車場の整備だけで解決するのではなく、公共交通機関なども考慮して解決策を検討してほしい。
 - 車イス用の駐車スペースやスロープなど障がい者の施設利用に関する意見について、図面等を見せつつ、実際の利用状況などの意見を確認しながら、整備内容の検討を進めていく必要がある。
 - エントランスゾーンについて、空間の価値を高めるという考え方が重要で、キッチンカーを入れたりできるスペースとして公園内に余白を残しておくという考え方も一つであり、公園内の空間価値を高めるという点で検討をしてほしい。
 - 交流ゾーンについて、交流ゾーンは公園内の交流の核となる部分であって、その範囲だけではなく公園全体で交流ができることも考えてほしい。
 - 国道330号側の入口は、災害時において災害対策のための大型車両等が入れるゾーンとして意識しておいてほしい。

- [事務局]
- 今後の進め方について、第三回委員会の議事録を作成し、各委員に内容を確認して頂く。そして、指摘事項を基本構想・計画に反映して取りまとめを行い、委員に確認して頂いた後、最終的な案を委員長と副委員長に確認して頂く流れで考えている。
 - 今回の委員会での確認事項として、立体駐車場の連結路について、連結路はなくても良いのではないかと事務局では考えており、この点について委員の皆様のご意見を確認したい。

[委員]	現状では地下部分の駐車場が満車のため、1階部分に上がるといった行動があると思う。そのため、駐車場の満空情報が確認できない状況で、連結路がなくなると不便な駐車場になってしまうことが懸念される。
[事務局]	- 駐車場を有料化する際には、国道側から立体駐車場までのアクセスの途中で、市道側に抜けることができるように整備することを検討している。 - 国道側の入口には、満空情報の表示とゲートの設置が想定されるので、満車の場合に駐車場に進入することはなくなると思われる。
[委員]	委員会の回答として、駐車場に入って、満車のため国道に引き返すといった行動が起きないように対策が取られているのであれば、連結路は必要ない考える。

以上